

親子が笑顔で大自然を満喫 すきむらんど滝まつり

5月25日、すきむらんどで大自然を満喫できる「2025 すきむらんど滝まつり」が開催されました。すきスイーツフェアやミニ動物園、キッズエリアなどが催され、市内外からたくさんの親子が来場。メインイベントの魚のつかみどりでは、子どもたちが一生懸命に魚を捕まえる姿に歓声が上がるなど大いに会場がにぎわいました。



魚のつかみどりに参加した三鐘佑真さん（小林小5年）は「初めて参加したけど、楽しかった！また来年リベンジしたい」と笑顔で話していました

地域を担う人材育成を目指す 市教育委員会と南九州大学が連携

5月23日、市教育委員会は南九州大学（中瀬昌之学長）と地域社会に貢献できる人材の育成を目的に包括連携協定を締結しました。協定では市内小中学校などの授業への支援、教員を志望する学生のインターンシップやボランティア活動の受け入れなどを想定。今後、持続可能な小林市の担い手づくりに向けた取り組みを進めていきます。



中瀬学長は「相互に実りのある連携活動にして、多様で優れた人材の育成のため大学としても連携しながら目指していきたい」と話していました

ICT の活用や DX 化を推進 西部電気工業(株)と連携協定を締結

5月26日、西部電気工業株式会社（坂口隆富代表取締役社長）と情報化に関する連携協定を締結しました。ICT（情報通信技術）の活用に関する検討や行政サービスのDX化について相互に連携し、地域社会の活性化や住民サービスの向上に取り組むことを目的としたもので、中でも観光分野のICT活用に取り組む予定です。



坂口代表は「現在、市が抱えているさまざまな課題の解決のためにも、共に地域の発展に向けて取り組みを進めていきたい」と話していました

子どもの自立心を育てる！ ガールスカウトが体験会を開催

5月24日、中央公民館でガールスカウト宮崎県第14団主催の「ガールスカウトオープンスカウティング」が開催されました。普段は野外活動やボランティア活動を月に1～2回程度行うガールスカウト生。当日は体験入部生6人、ガールスカウト生15人が参加し、テント立てや小物作りにみんなで協力して取り組んでいました。



体験入部の今東優さん（南小2年）は「みんなで協力してテントを立てられてうれしかった。他の子とも仲良くなりたい」と話していました



スペシャルPR大使蛙亭・イワクラさんの凱旋ライブを開催 会場外ではイワクラさん考案の「コイ（鯉）カツカレー」も販売し大盛況



コイカツカレーの販売で店頭にあったイワクラさんは「県内外から来た人たちに楽しく食べてもらえてうれしい。小林にはおいしいものがたくさんあるので、まだまだ広げていきたい」と市のPRに意気込みました

6月1日、小林市出身のお笑い芸人で、こばやしスペシャルPR大使を務める蛙亭・イワクラさんの凱旋ライブ『蛙亭のハッピーサマーライブ2025』が文化会館で開催されました。県内外から2000人以上が来場し、吉本興業所属の人気お笑い芸人9組の漫才やコントを楽しみました。

また、会場の外では市内の農畜産物などを販売

するマルシェも開催され、小林市産宮崎牛のサイコロステーキやみやざき地頭鶏^{じとつこ}の炭火焼きなどが販売されたほか、イワクラさんと都城市の人気カレー店のコラボメニューとして、市の名物である鯉を使った「コイカツカレー」も販売。舞台の合間には店頭でイワクラさんも立ち、写真を撮るなどしてファンとの交流を楽しんでいました。

生きがい学級開級式・演芸大会を開催

5月23日、文化会館で生きがい学級合同開級式が行われました。高齢者が日々充実した生活を送るための生涯学習の場として、定期的に講座を開講している生きがい学級。開級式後に行われた演芸大会では、踊りや合唱などを披露し親睦を深めました。



市内教職員外国語指導の理解深める

5月29日、南小学校で市内小中学校外国語教育研修会が行われました。元関西外国語大学^{なかしまよういち}教授の中嶋洋一さんを講師に招き、市内小中学校外国語担当教職員らが受講。子どもが英語で会話したくなる指導や小中連携への在り方について理解を深めました。



豊かな自然を親子で守り伝える 永久津小中学生のホタル観賞教室

5月28日、永久井野川周辺で永久津小・中学校の家庭教育学級活動「親子で地元のホタル観賞教室」が開かれました。講師の県環境保全アドバイザーの西邦夫さんは国内に生息するホタルの種類や市内に生息するゲンジボタルの習性について解説。ホタルの生態を学んだ児童生徒と保護者ら約40人はホタルの淡い光に見入っていました。



吉藤美知花さん（永久津小4年）は「ホタルが幼虫のころから光ることは知らなかった。実際に見たホタルはとてもきれいで楽しかった」と話しました

コップ1杯の牛乳が酪農家を救う 父の日には「牛乳」を贈ろう

6月13日、小林市と高原町の酪農家29戸でつくるこばやし地区酪農部会が市長に牛乳を贈呈しました。父の日を前に「父」と「乳」をかけ、牛乳や乳製品の消費拡大と酪農への理解醸成を目的に毎年行われているもの。飼料価格や光熱費などが急激に高騰したことで離農する酪農家が多いという厳しい現状などについて意見が交わされました。



ながたかずき 永田一喜副部会長（写真中央）は「小林の水はおいしいので牛乳も良いものができる。1人でも多くの人に牛乳や乳製品に目を向けてほしい」と話しました

行政相談委員の山下康代さんが表彰

5月27日、行政相談委員の山下康代さんが宮崎行政監視行政相談センター所長感謝状を授与されました。令和3年に市担当の行政相談委員に委嘱された山下さんは、住民から行政上の苦情や要望を聞き、解決のための助言などに取り組んでいます。



歯や口の健康への関心を高めてほしい

6月14日、中央公民館で第36回歯と健康みんなの集いが開かれました。小林えびの西諸歯科医師会などが歯や口の健康に対する関心を高めるきっかけづくりとして企画したもの。来場者はフッ化物塗布や歯みがき指導などを通して歯の健康について考えました。



大山さん親子（野尻）W受賞！ JA みやざき和牛枝肉共進会

6月3日、ミヤチク高崎工場で県内の和牛枝肉の品質を競う「第128回JA みやざき和牛枝肉共進会」が行われました。県内から104頭が出品された共進会。大山和夫、剛さん親子が出品した雌牛が宮崎牛らしさを評価され、最も品質が優れているグランドチャンピオン賞と脂の品質を競う脂質賞を獲得し、大会初のダブル受賞に輝きました。



（写真⑥大山剛さん）枝肉競りでは、全体平均が3,171円に対し、大山さんが出品した牛は過去最高値の1キロ11,300円で落札されました

(株)クリーン・アクア・ビバレッジ 子育て支援のため100万円を寄付

6月13日、株式会社クリーン・アクア・ビバレッジ（本坊 修代表取締役会長）が市に100万円を寄付しました。同社からの寄付は2015年から毎年続いており、今年で11回目。本坊会長（写真中央）は「地元にある企業として、市には昔からお世話になっている。これからも小林のおいしい水を全国に届けられるように頑張る」と話していました。



寄付金は使途を指定した指定寄付として寄付され、全額が小林市の未来を担う子どもたちのため、「子育て支援事業」の取り組みに充てられます